

よるこびの種を

日本画家 南正文 作品展



入場
無料

2018年2月9日(金) - 2月20日(火) ※19日(月)休館
午前9時30分～午後5時 ※金曜日のみ午後7時まで/最終日午後1時終了となります。
※最終入館は、閉館時間の30分前となります。

浦添市美術館



この絵の前に立つと、涙が出る。本当に、優しいんですよ。

「終わりから始まる終わりなき縁」「禍福一如」、心に響く～よるこびの種を～

【同時開催】南正文ドキュメンタリー映画「天から見れば」 2月9日～2月18日まで
火水木:午後2時～(1日1回)毎週末(金・土・日・祝祭日2/12)午前の部:10時15分～午後の部:2時～(1日2回)
午後の部映画終了後30分程、スペシャルトーク&シェアがごさいます。※2月20日は入江監督の講演のみとなります
入場料:大人2000円、子供・障害割:1000円(中学生以下・障害手帳呈示)



南正文 1951年9月 大阪府堺市生まれ。

小学校3年生の春休みの最後の日、父が経営する木工所で、機械のベルトに巻き込まれて両腕を切断する事故にあう。怪我の為、2年遅れて養護学校へ4年生から入学し勉学と生活訓練に励む。中学2年の時、今は亡き口筆画家 大石順境尼の最後の弟子となり口に筆をくわえ毛筆と日本画に取組む。

1967年、堺市展に初出品し、入選。以降、毎年公募展で入選、受賞を繰り返す。1975年、世界身体障害芸術家協会(現在の口と足で描く芸術家協会)会員となる。日本画家として、また協会会員として絵画の制作、個展を中心とした活動を行きながら、全国の少年院、寺院小学校、刑務所などを訪れ、講演活動やタイの里親制度に対する支援、また、ネパールでの小学校建設などを行う。2012年12月、永眠。生涯で、約900点もの絵画を制作する。

【お問い合わせ】 沖縄担当 造倉(栗山)初美 TEL:090-9781-6669
Email:minami.yorokobinotane@gmail.com TEL:090-7463-5993(仲間)

《会場》浦添市美術館 TEL:098-879-3219

〒901-2103 沖縄県浦添市仲間1-9-2
詳しくはホームページをご覧ください
<http://museum.city.urasoe.lg.jp/>



主催・一般社団法人 南正文よるこびの種を/協賛・口と足で描く芸術家協会・トータルプレイズ
後援・沖縄県、浦添市、浦添市教育委員会、沖縄テレビ放送、琉球放送、琉球朝日放送
沖縄タイムス、琉球新報、ラジオ沖縄、沖縄雑聴・中途失聴者協会、うちな～笑行快
ハートオブミラクル、ホノルル・ファンデーション

Masanori Minami

少年の様に純粋な心と、優しく温かな眼差しで、人を大切に想い
笑顔で生きるその姿は、誰の心にも安らぎを与え、大切な事を教えてくれた。
南氏自身である残された絵は、これから先も
ずっと多くの人の心に、「よるこびの種を」届け続けてくれるだろう。



作品展 同時上映

南正文ドキュメンタリー映画



「日本のマザーテレサ」と称される大石順教尼とその最後の弟子、日本画家南正文さんの人生を描いたドキュメンタリー作品。共に両腕がない二人。南さんは口筆で絵を描き、大石順教尼の教えを守ることで人生が開眼していく。ところが順教尼の亡き後その重圧から南さんの筆は止まる。心に障害を作らず、すべてを許し、時代を超越し運命を切り拓く。包み込むような優しさ温かき、溢れ出るエネルギー、凜とした美しさ、南正文さんの日本画は、南さん自身の生き方そのもの。日本画とドキュメンタリー映画、どうぞ合わせてご覧下さい。

スペシャルトーク & シェア

毎週末(金・土・日・祝祭日2/12)午後の部映画終了後30分程、スペシャルトーク&シェアがございます。スペシャルゲストをお楽しみに!! 会場は、浦添美術館内(講堂)にて行います。

故南正文さんの妻 南 弥生さん

毎週末

天から見れば上映後ミニ講話



ヨガインストラクター、ヨガスクールの経営者、カイロプラクター講師として多くの人を指導する中、身体と心の健康を求め気功、整体なども習得。ヨガの思想をより深める為、インドにて修行、ネパールを旅した。旅の縁で出逢ったネパールの青年の村に3校の学校を建設。正文さんもネパールの学校建設に参加された。正文さんとの結婚後、すべての仕事を辞め、長野県安曇野にアトリエを建て、二人の生活を始める。明るく人懐っこくイタズラ好きの正文さんと大らかで優しく人を包み込む弥生さん、二人のもとには多くの友人が訪れいつも笑顔が溢れていた。常に正文さんの手となり、心と身体の支えとなって、寄り添い生涯を共に歩まれた。そして現在、一般社団法人 南正文よろこびの種をの代表理事として、正文さんの絵と生き様を多くの人に届ける活動をされている。

『天から見れば』監督 入江富美子さん

2/20(火)

午前10時~12時半 講話



ファッションデザイナー、アロマセラピスト、会社経営を経ながら、自分の使命を探し求める。2005年に人生を変える大きな意識の変化を体験し、そのインスピレーションに従い、2007年に映画「1/4の奇跡~本当のことだから~」を製作。その後「光彩の奇跡」「天から見れば」の2作品を発表。「天から見れば」はニューヨーク国連本部でも上映され、監督作品は海外18カ国2000箇所上映、観客動員数は18万人を超え今も広がり続けている。2016年にはニューヨーク国連関連NGO平和団体「Peace Maker Group」の、国連における平和フィルムフェスティバルでのアジア代表の映像審査員となる。現在は全ての人々が感謝とともにミッションを生かされる方法である「へそ道(どう)」を世界に発信、国内外で活躍されている。 ※2/21(水)入江監督来沖記念特別企画があります。

大石順教尼の孫 大石雅美(晶教)さん

2/9(月)

午前10時オープニングゲスト



父 順教尼の長男(慈峰)と母(智教)の次女として誕生。順教尼没まで現在の仏光院にて順教尼と共に生活。2008年 大石順教尼「かなりや会」を設立。2012年 萱野正己氏臨席のもと高野山別格本山本寺院細川康裕僧正を師として得度。2012年マンガ本「祖母さまのお手々はだるまのお手々」を出身校の京都精華大学の協力で制作。大石順教尼「かなりや会」設立後、寺院・大学での遺作展、その他公共団体や民間団体での講演活動をされている。毎月、順教尼の命日21日に遺作を展示している順教尼の庵大本山勸修寺境内「可笑庵」を開庵されている。

特別企画

2/10(土)上映後(午後4時~)スペシャルライブ:優しく素直な歌で大人気のなゆた(Nayuta)~特別ゲスト~
2/19(月)沖縄肝心ツアー:カリスマガイド崎原真弓さん、南弥生さんと巡る沖縄バスツアー(完全予約制)
※表面のお問い合わせメールアドレスにてご連絡ください。※定員になり次第締切とさせていただきます。